

# 広島平和記念式典に

## 参加して

8月6日(火)に広島市で開催された広島市原爆死没者慰霊式・平和祈念式に、市が募集した「平和の作文」で最優秀・特選を受賞した中学生4人が参加しました。

平和記念公園の慰霊碑や原爆ドームなどを見学し、語り部の原氏から被爆体験を聞くなど、平和の尊さについて改めて考える貴重な体験となったようです。

問合せ 人権推進課 ☎(43) 11111内線162

FAX(44) 0257

### 参加生徒の感想文

#### ■鈴木 美里さん(東中)

平和記念公園に着いた瞬間、今までは何か違うものを感じた。

原さんの被爆体験談も原爆資料館の写真や模型の数々も、全てが衝撃的だった。過去に

こんなにも悲惨な戦闘があったことを信じたくなかった。受け止めたくなかった。私は現実逃避してしまったのだ。

でも、この悲しみ苦しみを私たちが正確に受け入れてこそ「平和のバトン」を未来へと繋ぐ第一歩になると思う。

黙祷で広島が一つになった1分間、広島中に響き渡った鐘の音は決して忘れることは

ないだろう。鳩が大空へ放たれ、美しい群れで広島空を

飛んだ時、私たちの未来も希望も平和もまた少し広がったと私は確信した。

今、自分が平和に生きていることに感謝し、これから平和が世界中に広がることを祈り続ける。

#### ■尾方 綾花さん(西中)

目と耳と鼻で体感した原さんは私たちに、二度と起きてはならない、あの8月6日のできごとを話してくださいました。とても衝撃的で言葉では、表せられない気持ちになりました。原さんは「生きて

いる者が真実を真実のまま伝えなければならぬ」とおっ

しゃっていました。私は将来、この平和のバトンを受け継いで役に立つ大人になりたいと強く思いました。

平和記念資料館にも行きました。ここでは、生々しい写真や焼けこげたボロボロの衣服・くつなどが当時のまま残されていました。8時15分ぴったりに止まってしまった時計は、本当にあの日、広島の時の流れが止まってしまったのだと思いました。

その後、私は平和記念式典に参加させていただきました。一つひとつの大切な命を奪ったこの原爆。核兵器は絶対にあつてはいけません。私はこの経験を生かして伝えていきたいです。



▲語り部(原氏)の話聞く生徒

■河野 茉柚子さん(幸手中)  
平和記念資料館にある時計が8時15分で止まっていました。私たちが参加した記念式典から、ちょうど68年前のそのとき、一瞬にして何もかもが消え去った。その事実を考えると、とても恐ろしくなりました。

被爆者の原さんは、その恐ろしさについて話してくれました。学校の友達や先生は火傷して誰なのか区別がつかなく、辛うじて生き残った人々はみんな、水を求めたそうです。その光景を目の当たりにし、あまりのショックで、待ちに待ったお米が喉を通らなかつたといいます。

今回、改めて戦争、原爆の恐ろしさが分かりました。二度とあんなことが起きて欲しくないと思えます。原爆が世界からなくなるまで燃え続ける平和の灯が、近い将来消えることを願っています。

#### ■浜田 怜威さん(東中)

今回、僕は初めて広島を訪れました。初めて目にする広島



▲頭花台に花を供える様子

本当に、ここに原爆が落とされたのかと疑いたくなる程でした。しかし、原爆ドームの目の前に立った時、そんな気持ちは吹き飛びました。崩れ落ちたレンガやねじ曲がった鉄骨は、原爆がどれほど恐ろしいものなのかを語りかけてくるようでした。

また、原爆被害の目撃者である原さんの話には、本を読むのとはまた違った生々しさがありました。特に印象深いのは、空気が臭くてせつかくの握り飯も食べられなかったという話です。教科書には載っていない、体験した者しか分からないことは、まだまだたくさんあるのだろうと感じた瞬間でした。

僕は今回学んだことを、決して忘れないようにしようと心に誓いました。

## いきいきクラブ教室

- と き** 10月11日～12月27日毎週金曜日  
午後1時30分～3時(全12回)  
※②③の日は時間・内容が異なりますので、ご注意ください。
- ところ** ウェルス幸手
- 内容** ①バランス運動を含めた簡単筋トレ、脳トレおよびストレッチング  
②栄養改善講座(講話と調理)  
11月8日(金)正午～午後2時30分  
③口腔講座(講話と口腔ケアの実践)  
11月29日(金)午後1時30分～3時
- 対象** 市内在住の65歳以上の人  
※初めて参加する人を優先します。
- 定員** 20人(申込み順)
- 参加費** 無料
- 持ち物** タオル、飲み物、運動靴(室内用)  
※②の日は、合わせて三角きん、エプロン、ふきん2枚、炊いたご飯(1食分)、筆記用具
- 申込み** 9月27日(金)までに印鑑を持参の上、介護福祉課窓口へ  
※健康チェックアンケートがあります。  
※土曜・日曜・祝日は除きます。
- 問合せ** 介護福祉課 ☎(42)8444・FAX(43)5600

65歳以上の人が、要介護状態となった原因としては、生活習慣病(脳血管疾患・心臓疾患など)や運動器障害(転倒・骨折、関節疾患など)、高齢による衰弱、認知症などが挙げられます。

健康寿命(健康で活動的な生活を送れる期間)をより長くするためには、脳と身体を積極的に使い、意欲的に生活していくことが大切です。

いきいきクラブ教室では、バランス運動を含めた簡単にできる筋力トレーニングやストレッチング、有酸素運動を行います(左記参照)。

また、栄養バランスやお口の健康についても楽しく学習できます。

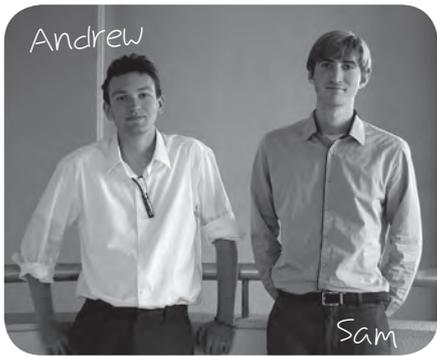
運動しやすい気候となる秋がやってきます。楽しく介護予防に取り組み、健康寿命を延ばしましょう!

※健康寿命については、本紙12・13ページでも紹介しています。

65歳以上の人へ「いきいきクラブ教室」参加者募集

運動の秋!

介護予防で健康寿命を延ばそう!



## Nice To Meet You ★

新しいALT(Assistant Language Teacher: 語学指導助手)を紹介します。市内小中学校で、国際理解教育や外国語指導などを行います。

問合せ 学校教育課 ☎(43)1111 内線 632・FAX(43)3188



Hi everyone! My name is Andrew Leistensnider. I am a new ALT in Satte city. I recently graduated from university where I studied economics and Japanese. I enjoy playing piano and singing karaoke. I am excited to start working as an ALT. Nice to meet you.

みなさん、こんにちは! 私の名前はアンドリュー・ライstensナイダーです。幸手市に来た新しいALTです。大学では、経済学や日本語について勉強し、まだ卒業したばかりです。ピアノを弾くことやカラオケが大好きです。ALTとして仕事ができることにワクワクしています。みなさん、よろしくお願ひします。

Andrew Leistensnider

### Sam Sain

Hi my name is Sam Sain and I'm from San Antonio, Texas in US. I studied Japanese at Willamette University in Salem, Oregon, and also studied abroad at Tokyo International University in Kawagoe city. I love to listen to many different kinds of music and watch comedy programs. I'm looking forward to learning a lot about Satte and Saitama Prefecture through my time here! Thanks for having me!

こんにちは。私の名前はサム・セインです。アメリカのテキサス州サンアントニオから来ました。オレゴン州のセイラムにあるウィラメット大学で日本語の勉強をしてきました。川越市の東京国際大学にも留学したことがあります。趣味はいろいろな音楽を聞くことやコメディーを見ることです。ここにいる間、埼玉県や幸手市のことをたくさん勉強し、新たな発見をしていきたいです。よろしくお願ひします。